

寺尾壽 テラオス 天文学者。安政二年九月筑前國生れ、大正十一年八月六日歿（一八五五—一九三三）。開成學校を経て東京大學物理學科卒。明治十七年フレンスル留學。十七年東大教授となり日本人による初の天文学を講じた。二十一年東京天文臺初代臺長。東京物理學校校長、日本天文学會初代會長を務めた。法學者寺尾亨の兄、水産學者寺尾新の父。

著書に、『雄辯大家實地演說集・上巻』（合著、明治二十年六月一日内山龜太郎編輯、改進堂・鶴聲社發兌）、『明治四十二年學術通俗講演集』（合著・東京數學物理學會、明治四十二年四月四日大日本圖書株式會社）等。